

社協ワーカーだより

No.63 平成29年12月

地域のみなさんや関係機関の方々に向けて社協ワーカー（職員）の動きや社協の事業について情報発信するお便りです！！



福岡市社協キャラクター
ここと

発行：福岡市社会福祉協議会地域福祉課（TEL720-5356）
各区社会福祉協議会

「市民福祉プラザ」をご利用ください！

福岡市の民間福祉団体の活動拠点施設である市民福祉プラザ（通称：ふくふくプラザ、以下「プラザ」）の指定管理者である福岡市社会福祉協議会・旭商会共同事業体は、市民の皆様への福祉啓発と福祉団体や福祉活動の周知を図ることを目的に、福祉講演会や一人親家庭親子クッキング教室、障がい者作品展など、年間を通して様々な催しを企画しています。

また、プラザの施設見学や写真入門講座など、一般市民の方が気軽にご来館いただける企画も行なっています。

その一つとして、プラザ入居団体・利用団体、地域団体、企業などと連携・協働して、プラザのPR、地域との連携強化と福祉の拠点機能の充実を目的に、毎年12月に「障がい者週間」の取り組みと連携して『ふくふくプラザまつり』を開催しています。

今年も、12月9日（土）に、福岡市社会福祉協議会・旭商会共同事業体、エフコープ、福岡市ボランティア連絡協議会の三者共催で、福祉への理解を深めていただくために『みんなでふくし&ふくふくプラザバリアフリー映画祭』を開催します。



祭では、バリアフリー映画の上映のほか、プラザ入居団体や市内の福祉施設、当仁校区自治協議会、福岡大学附属若葉高等学校や西日本短期大学、大村美容ファッション専門学校などの協力により、それぞれの特色を生かしたコーナーを各階に設置し、プラザ全体で楽しめる催しを企画しています。

※バリアフリー映画

視覚障がいの方には副音声（音声ガイド）、聴覚障がいの方にはセリフを字幕で挿入することで、場面や内容をわかりやすく説明するもの。

イベントを通じて得られた主催者相互の信頼関係、地域団体や入居団体、企業等との連携協働、来場者の方々との様々な出会いを大切にしながら、プラザが市民の皆様身近な存在となりますよう、これからも様々な企画で盛り上げていきたいと考えています。

皆様、ぜひ一度プラザをご利用ください！

住まいサポート、生活保護課との連携による高齢者の住まい探し

長男所有の分譲マンションに長男夫婦と同居しているAさん(80代女性)が、今後の生活のことで担当民生委員と共いきいきセンターに相談した結果、区社協を紹介されたと窓口に来られました。

相談内容は、長男から「今月末でマンションを売却するため、家を探して今後は一人で暮らして欲しい。」と言われ路頭に迷いそうであること、息子夫婦とは5年程前までは仲が良かったが、その後関係が悪化し、現在は食事・洗濯等の日常生活は完全に分離していること、息子夫婦と顔を合わせると気まずいこともあり、日中は公民館や図書館に行っていることが多い、とのことでした。



Aさんは、担当の民生委員とは長年の知り合いで、住んでいる地域には友人もいるので離れたくないが、今のマンションに住み続けることはできないため、近くで家を探したいと思っています。

相談の結果、「①新たな住居を探さないといけないこと。②年金もわずかで生活に困窮すること。」の2点を当面の課題として相談支援に取り組むこととなりました。新居については、近隣に公営住宅がないため、市社協の「住まいサポートふくおか事業」(下記「気一(KEY)になる!!キーワード」参照)で高齢者が入居しやすい賃貸住宅を探すこととし、家賃・生活費については区役所保護課に相談をした結果、隣の校区で比較的現住所に近い場所に物件が見つかり、生活保護を受給しながら自立した生活を送る目処が立ちました。



次に、賃貸契約締結のための連帯保証人と引っ越し費用が必要となり、Aさんが長男に相談した結果、どちらも断られたため、連帯保証人は他の親族にお願いし、引っ越しは住まいサポートと区社協の職員が支援することで費用をかけず、翌月中に引っ越しを完了することができました。

転居後は、今後の困りごとの相談などができるよう区社協から新たな担当民生委員を紹介し、現在Aさんは「長男夫婦に気兼ねすることなく、平穏に暮せています。」と落ち着いた生活を送られています。



今月の 気一 (KEY) になる!! キーワード 「住まいサポートふくおか」



住み替えでお困りの高齢者を対象に、民間賃貸への入居に協力する「協力店(不動産業者)」や見守り、緊急時対応、買い物支援など生活支援のサービスを担う「支援団体」と連携し、民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する事業です。物件情報の提供、入居や入居後に必要なサービスのコーディネートなどを行います。

対象は、市内の民間賃貸住宅への住み替えを希望している方で、65歳以上の単身の方、もしくは65歳以上の方のみで構成されている世帯です。相談料は不要です。まずはご相談ください。

福岡市社会福祉協議会 地域福祉課事業開発係 (電話: 720-5356)



住まいサポート
ふくおか

脳のトレーニング(脳トレ)に挑戦してみませんか?

脳は「記憶する」「計算する」「理解する」「判断する」など大切な認知機能を担っていますが、脳の発達は20歳ごろで止まって、年とともに少しずつ認知機能が低下していくそうです。

認知機能の低下を予防するためには脳を働かせることが効果的と言われています。西区社会福祉協議会では、楽しく脳を働かせるための貸出し用ツールとして『脳トレ本』を新たに4冊購入しました。

「まちがい探し」や「昭和・平成の出来事なつかしパズル」など、サロンやカフェなどでワイワイ楽しみながら問題に挑戦してみたいはいかがでしょうか?

お問合せ: 西区社会福祉協議会 TEL: 895-3110